

各務支部社協の福祉活動について

旧各務小校区の会員の皆様には支部活動及び運営について格別のご理解と、ご協力を頂き誠に有難う御座います。そして感謝申し上げます。昨年は旧各務小校区の高齢者（障がい者）台帳作りに取り組んで、三年目にして、役員の皆様方や、会員の皆様方の協力と、ご理解を頂き台帳作りを進めて参りました。今年はさらに一人でも多くの方のご理解を頂き安心、安全、心豊かな各務地区にしたいものです。

今年も五月から毎月一回各地区でふれあい広場を開催予定をしております、もうすでに五月、六月、



社会福祉協議会 各務連合支部 支部長

玉置 光治

七月の三回ふれあい広場を開催したところ、各地区の役員の皆様方大変な骨折りで昨年より子供から若いお母さん、お父さん、お婆ちゃん、お爺ちゃんの参加多く、支部社協役員代表して感謝申し上げます。各務支部には、「ボランティアハウスおがせ」と「ボランティアハウス船山」、今年から「さくら北島」の三拠点に増えました。ボランティアハウスの指導者の方には大変なご苦労だと思います。これからますます高齢社会になります、各務地区は特に高齢化率が高くなるようです。一人でも多くのの方がボランティアハウス等に

参加して頂き、一時でも良いから楽しい時間をお過ごしただきたいと思っています。

今年も近隣ケアグループの皆様方と、支部社協と共に支えあって活動して頂く事をお願いいたします。特に民生委員の方と連絡、相談しながら各地区の良き相談相手となって頂く様お願いします。又今年も近隣ケアグループの皆様と共に支部社協の事業がたくさん予定されており、一人でも多くの方の参加を希望しております。

最後に多方面にわたる活動と、ふれあいが、社会福祉の任務と、心得、今後も各務支部の活動の場を広げていきたいと思っております。地域の皆様の温かいご支援と、ご協力をお願いしてご挨拶をさせていただきます。

支部より
社協だより

村国の郷

第35号

編集・発行
各務原市社会福祉協議会
各務連合支部

民生委員・児童委員紹介

<民生委員・児童委員>

●氏名

白木 充
足立 信行
長縄 節子
鈴木 由里
岡崎 圭祐
五井 和彦
澤部 幸彦
長谷部 忠史
長縄 光洋
白木 登美子
篠田 恵理子

●電話番号

384-0938
384-4580
384-4798
384-1929
385-2233
384-0360
385-1088
384-5029
384-0575
370-6267

●担当自治会

川崎団地、須衛第一・第二
須衛第三、会本
東組北
山の前
おがせ町第一
南北島、西北島、宮の前
おがせ町第三、城の屋敷
おがせ町第四・第五
各務西町第一
船山西・東、各務西町第二

各務小・中央小（一部）・八木山小校区

平成24年度 近隣ケアグループ紹介

近隣ケアグループ 区代表

東組	福本 培伸
中組	藤村 政義
西組	長縄 紀久代
須衛	足立 美知子

このグループは、寝たきり高齢者、認知症高齢者を抱える家族、一人暮らし高齢者、また高齢者夫婦世帯などにおいて、さまざまな不安や、不自由を抱えながら生活している人たちが、地域の中で安心して暮らしていけるように、誰もが無理をすることなく自然体でできる程度の援助活動やふれあいを通して、日常生活を見守っていただく近隣の人たちによるボランティア活動に参加していただいている人たちです。

近隣ケアグループ名簿

グループ名		代表者	グループ員氏名	
西組	仲の宮さわやか(西町)	足立 妙子	五島ちづ子	五島かよ子
	金山会(西町)	足立 淳子	長屋 民子	浅野ゆかり
	船山東(船山東)	松田 一夫	倉知 弘美	村松 節子
	たんぼぼ(温井)	長縄紀久代	堀 すみ子	古池 泰子
	船山会(船山西)	松山まゆみ	永井ふさ子	
中組	宮の前	柴山 妙子	広沢 恵子	黒井美保子
	南北島	後藤恵美子	行田 園子	上松 良子
	北島団地	藤村 政義	丸山 蓉子	
	おがせ第二	柴山みな子	沢井 進	沢井めぐみ
	おがせ第三	足立 直美	高岡とみ子	清水 敬子
	城の屋敷	左高富士子	長縄 夏代	
	すいれん(おがせ第四)	五島ひで子	堀 善子	鈴木 明子
	さわやか会(おがせ第五)	根本 美穂	早川 理子	早川 佳子
	シニアクラブ「さくら」(山の前)	福本 培伸	波多野俊勝	加甲 勝利
	あすなろ(東町)	長縄恵美子	吉田 典子	柴山 広野
東組	ひまわり(東町)	大竹 悦子	遠藤 真由	柴山 智子
	須衛第一(須衛)	長崎 恵子	柴山 幸子	後藤 民枝
	須衛第三(須衛)	足立美智子	中道 定子	足立 富子
	会本(須衛)	加藤 尚美	足立 みどり	後藤 由美子
			長縄 沢子	岡田 真澄



今年二月のこと、今までも仲間
で時々一品持ち寄りやお弁当を買っ
たりして、公民館で楽しく食事を
を開いておりました。今年一月に
仲間の一人が突然死という悲しい
出来事があったこともあり皆、大
変淋しい思いをしており、「偲ぶ

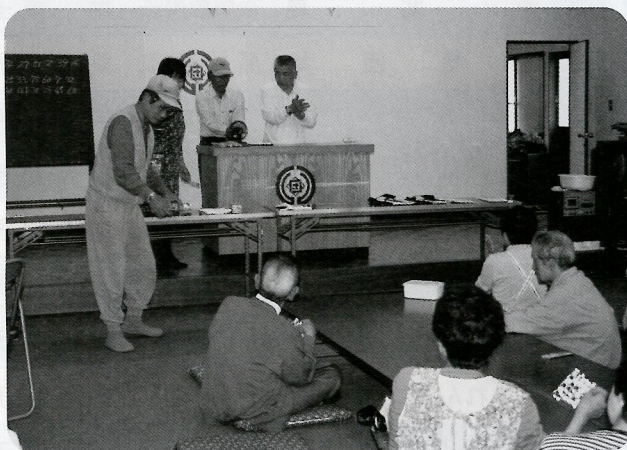
ボランティアハウスを立ち上げて

さくら会北島 桑村 多鶴子

会を作ろうか?、「もう少し見方
を変えてボランティアハウスにし
てはどうか?」と住民の方が後押
しもあり、立上げ準備を進めてき
ました。

ボランティアハウス第一回目は
四月五日。皆が一品ずつおかずを
持ち寄っての食事を開いたとこ
ろ大変好評でした。自治会の総会
の場において、ボランティアハウ
スの立ち上げたことの報告をし、
基本的には、毎月第一木曜日午前
十一時三十分より開くことが決定
とともに、自治会からの応援を理
解を得る事ができ、活動をすすめ
にあたりとても心強く感じました。

二回目の開催に向け、多くの方
に参加いただけるように、町内の



お一人暮らしの方、近所付き合いの
少ない方、障がいがあるって自由に
出られない方にお声掛けをして回
りました。『みんなちゃんと来て
くれるだろうか?』と前日の準備
からボランティアさんたちは、ド
キドキしながら軽食作りなどの準
備をしていましたが、当日は三十
七名もの参加がありました。

そして不安も安心に変わる。食
事も和やかな雰囲気の中、あ

る方は、「知らない方とお友達が
できてよかった。」「○○さんと何
年振りに会えて良かった!」と喜
びを伝えていただける方もありま
した。同じ地域に暮らしていても
なかなか顔を合わすことがなかつ
たようで、そんな言葉は私たち
も嬉しいばかりで、思わず笑顔に
なってきました。

食事の後のビンゴゲームも大盛
り上がり。「何番を出して〜!」
と大きな声が飛びかい、皆さんが
笑顔になっていきました。あっと
いう間に感じてしまうほどの楽し
いひと時。

こうして、一歩ふみ出すことが
できたこと。勇気づけと協力をし
てくださるボランティアの皆様に
感謝いたします。今後も、窓の大
きな、気軽に寄れる場にしていき
たい!と願って活動を続けて行き
ます。

高齢者(障がい者)福祉推進会議に参加して

民生委員 鈴木 由里子

本年度も去る六月十六日(土)午後七時か
ら各務福祉センターにおいて、高齢者(障が
い者)福祉推進会議が各地区自治会長様、近
隣ケアグループの皆様、社会福祉協議会、民
生委員等多数の方々のご出席のもとに開催さ
れました。私達が住みなれた土地で尊厳を保
ちながら安心して生活出来るようにとの願い
のもとお互い知恵を出し合い協力しあって
何が出来るだろうか話し合いがなされました。

●近隣ケアグループの活動について

●見守り、声かけ活動の充実について

●地域ふれあい広場へ的高齢者が積極的に参 加する為には

●高齢者(障がい者) 援護台帳作成について

ご近所の方の見守り声かけによって、小さ
な変化にいち早く気付く事があります。近隣
ケアグループの活動で地域生活の中での孤立
や不安をなくし、安心して日々を過ごす事が
出来ると思います。各務地区は、家族間、地
域住民の関係(絆)が濃い地域だと思ってお
りますが、なかには家から出てこれない高

齢者の方もおられます。近くの公民館で行わ
れる「地域ふれあい広場」はご近所の方、地
域の方とふれあう一番の交流の場となります
ので、是非ご家族ご近所の方は、声かけして
あげて欲しいです。

常日頃、ご近所の方との交流があると「オ
レオレサギ」の被害にあう方も少なくなるの
ではないでしょうか。それから緊急時や大災
害が起きたらどうなさいますか。昔から「遠
くの親戚より近くの他人」というたとえがあ
りますが、ご近所づきあいは大事ですね、い
ざという時、助けてもらえます。

各務地区では緊急時及び大災害時に備えて
高齢者(障がい者) 援護台帳作りをお願いし
てますがまだ充分とは言えません。自分の命
は自分で守る。自分達の安全と安心は自分た
ちの力で作りあげる、災害時には一人も見逃
さないを合言葉にご協力をお願いしたいと思
います。「備えあれば患いなし」その時に後
悔しない様にしなければいけないと思いまし
た。

「認知症サポーター養成講座」開催

福祉推進員 後 藤 浩 子

6月23日(土)各務福祉センターに於いて、地域の代表の方々36名の参加をいただき「認知症サポーター養成講座」を開催しました。地域包括支援センターの方から「認知症は誰にも起こりうる脳の病気で85歳以上では4人に1人がその症状があると言われている。認知症の人は、周囲の人の理解と気使いがあればおだやかに暮らしていくことが可能。認知症を正しく理解し温かい目で見守ることが、認知症の人が地域で安心して暮らすための支えとなる」等、認知症の概要と症状のある方への対応等についての正しい知識を持ち、支える手だてを知ることで「尊厳ある暮らし」をみんなで守ることができる。

誰もが「認知症サポーター」として支え合い、地域の絆をより深めていくことが大切であると思いま
した。

平成24年度 社会福祉協議会各務連合支部役員名簿

役職名	氏 名	備 考
支 部 長	玉 置 光 治	近隣ケア
副 支 部 長	長 縄 光 洋	民生・児童委員
副 支 部 長	加 藤 勝 士	連合会長 (須衛区長、会本自治会長)
副 支 部 長	堀 尾 修	中組区長
副 支 部 長	長 縄 正 裕	西組区長
副 支 部 長	澤 田 公 威	東組区長（青少年委員長）
理事推進員	岡 崎 圭 祐	民生・児童委員総務
理事推進員	鈴木由里子	民生・児童委員書記
理事推進員	後 藤 浩 子	ふれあい活動指導員会計
理 事	五 島 和 彦	民生・児童委員
理 事	澤 井 幸 彦	民生・児童委員
理 事	長谷部忠史	民生・児童委員
理 事	長 縄 節 子	民生・児童委員
理 事	足 立 信 行	民生・児童委員
理 事	白 木 充	民生・児童委員
理 事	白木登美子	民生・児童委員
理 事	篠田恵里子	主任児童委員 (各務・八木山担当)
理 事	足 立 信 弘	青少年育成指導委員
理 事	福 本 培 伸	近隣ケア代表東組
理 事	藤 村 正 義	近隣ケア代表中組
理 事	長縄紀久代	近隣ケア代表西組
理 事	足立美智子	近隣ケア代表須衛
理 事	小 脇 繁	ボランティアハウス おがせ代表
理 事	木 村 明	ボランティアハウス 船山代表
理 事	桑山多鶴子	ボランティアハウス さくら会北島代表
理 事	後 藤 正 利	各務シニアクラブ代表
評 議 員	芝 山 利 之	体育振興会会長 (宮の前自治会長)
評 議 員	長 縄 光 次	青少年育成指導委員
評 議 員	加 藤 綱 志	各務小学校PTA会長
評 議 員	田 川 麻 矢	こども会育成会長
評 議 員	五 島 裕 司	東組副区長
評 議 員	柴 山 泰 宏	中組西北島自治会長
評 議 員	長 縄 治 元	西組副区長
評 議 員	後 藤 茂 男	中組南北島自治会長
評 議 員	佐 高 秀 峰	中組城之屋敷自治会長
評 議 員	足 立 幹 人	中組おがせ第三自治会長

役職名	氏 名	備 考
評 議 員	佐 高 靖	中組おがせ第四自治会長
評 議 員	岩 原 哲 夫	中組おがせ第五自治会長
評 議 員	長 縄 哲 雄	西組金山常会長
評 議 員	足 立 茂 徳	西組駒場常会長 (第一自治会長)
評 議 員	矢 野 博 美	西組仲の宮常会長
評 議 員	長 縄 廣 男	東組自治会長
評 議 員	長 縄 光 浩	東組洞西常会長
評 議 員	大 竹 廣 幸	東組木戸・宮の前常会長
評 議 員	塩 谷 昇	東組山の前常会長(西)
評 議 員	長 縄 寿 治	東組山の前常会長(東)
評 議 員	丹 羽 務	須衛第一自治会長
評 議 員	石 田 恒 久	須衛第二自治会長
評 議 員	深 尾 泰 志	須衛第三自治会長
評 議 員	波 野 俊 克	中組おがせ第一自治会長
評 議 員	松 山 真 也	船山西自治会長
評 議 員	松 田 一 夫	船山東自治会長
評 議 員	平 出 英 男	川崎団地自治会長
評 議 員	足 立 淳 子	金山会（西町）
評 議 員	足 立 妙 子	仲の宮さわやか代表
評 議 員	松山まゆみ	船山会（船山西）
評 議 員	芝 山 妙 子	宮ノ前代表
評 議 員	後藤恵美子	南北島代表
評 議 員	柴山みな子	おがせ第二代表
評 議 員	足 立 直 美	おがせ第三代表
評 議 員	左高富士子	城の屋敷代表
評 議 員	五島ひで子	すいれん(おがせ第四)代表
評 議 員	根 本 美 穂	さわやか会 (おがせ第五)代表
評 議 員	長縄恵美子	あすなる代表
評 議 員	大 竹 悦 子	ひまわり(東町)代表
評 議 員	長 崎 恵 子	須衛第二代表
評 議 員	足立美知子	須衛第三代表
評 議 員	加 藤 尚 美	須衛(会本)代表
監事・評議員	芝 山 道 男	中組副区長
監事・評議員	白 木 充	須衛副区長
顧 問	長 縄 博 光	各務原市議会議員

平成24年度 社会福祉協議会各務支部事業予定

●ボランティアハウス（地域でみんなで支えあう活動）

事業名	活動日時	場所
ボランティアハウス 船山	毎月1回（第2日曜日14時より）	船山西町集会場
ボランティアハウス おがせ	毎月1回（第3木曜日13時29分より）	各務福祉センター
さくら会 北島	毎月1回（第1木曜日11時30分より）	北島団地公民館

●その他の主な事業

月	日	曜	事業名	場所
4	21	土	民生児童委員・近隣ケアの会合	各務福祉センター
	21	土	各種団体日程調整会議	各務福祉センター
5	12	土	第1回理事会	各務福祉センター
	13	土	横断旗の点検	全地区
	19	土	合同総会	各務福祉センター
6	16	土	地域ふれあい広場（おがせ第一・西北島・南北島・宮ノ前・城ノ屋敷・おがせ第3）	各務福祉センター
	23	土	地域ふれあい広場（山の前）	山の前公民館
	23	土	高齢者福祉推進会議	各務福祉センター
7	14	土	ボランティア講座（認知症サポーター養成講座）	各務福祉センター
	21	土	地域ふれあい広場（須衛第二、第三）	須衛公民館
8	1	水	池祭り子どもフェスティバル共催	おがせ池周辺
	18	土	支部だより「村国の郷」発行	
9	15	土	地域ふれあい広場（おがせ第四）	池端公民館
	29	土	高齢者ふれあい交流月間	全区域
	29	土	地域ふれあい広場（須衛第一、川崎）	須衛公民館
10	20	土	支部社協 座談会	各務福祉センター
	20	土	地域ふれあい広場（船山西）	船山西集会場
11	17	土	民生児童委員・近隣ケアの会合	各務福祉センター
	25	日	地域ふれあい広場（西町）	西町公民館
12	8	土	歳末たすけあい特別事業（歳末座談会）	村国会館
	15	土	ボランティア講座（渡辺哲雄）	各務福祉センター
1	12	土	地域ふれあい広場（温井、船山東）	温井公民館
	19	土	福祉懇談会（地域コミュニティ会議）	各務福祉センター
2	10	日	地域ふれあい広場（会本）	会本公民館
	16	土	ボランティア講座（認知症サポーター養成講座）	各務福祉センター
3	1	金	地域ふれあい広場（東組）	東町 東部公民館
	9	土	支部だより「村国の郷」発行	
	16	土	第2回 理事会	各務福祉センター
			地域ふれあい広場（おがせ第五）	おがせ団地公民館
			合同総会	各務福祉センター

見本

高齢者（障がい者）福祉（援護）台帳

家族を代表する方のお名前

家族の人数

住所

電話番号

〇〇△男

6

各務原市 〇〇〇町 10丁目 XX番地

△△〇-〇〇〇△

台帳登録者

（指名を記入し、該当する欄に○印を付けてください）

項目	お名前と年齢					
	男	子				
① 75歳以上の高齢者	○					
② 70歳以上の高齢者のみの世帯						
③ 65歳以上の独居の高齢者						
④ 障がいをお持ちの方		○				
⑤ 昼間、70歳以上の高齢者のみ	○	○				
⑥ 自力避難ができる	○					
⑦ 自力避難ができない		○				
⑧ 遠く離れた場所に避難させたくない		○				
⑨ 避難先へ携行必須の物品がある	○					

非常連絡先

（大規模災害時などには電話がつかないときがあります）

連絡先	お名前	続柄	携帯や勤務先の電話番号
①	△山〇男	弟	090-XXXX-XXXX
②	〇〇△□	子	090-△△XX-0000

家族構成

名	性別	年齢	備考
△男	男	80	自営業
□子	女	75	〃
○郎	男	30	〃
〇〇	女	28	〃
□	男	5	〇〇幼稚園
△	女	3	〇〇幼稚園

住所があるなしかかわらず、現在一緒に住んでいる家族を記入してください。

備考欄記入事項については、裏面の記入例を参考にしてください。

この台帳に記載した事項は、地域の福祉活動や災害時の援護活動の立案・実行に限りて利用することを認めます。

平成24年 5月1日

家族代表者 〇〇△男

旧各務小校区高齢者（障がい者）台帳づくりにも一人でも多くの方の参加を希望します。

- 4 -